

三光図書館だより



10月は美味しいモノがたくさん！夏の暑さで食欲が落ちちゃった方もこれからたくさん美味しいモノを食べて元気を取り戻してくださいね

秋の夜長に本を読もう！推理が面白くて眠れなくなっちゃうかも！？ミステリー小説や上下巻の分厚い本。普段はなかなか手を伸ばしにくい本にチャレンジしてみませんか？



食欲の秋



市民の本棚

中津市立図書館

沢山食べて、元気になろう！お料理の本

- ◇『きのこレシピ』石澤 清美 他/主婦の友社
- ◇『お芋とお豆のほっこりレシピ』井上 由香理/成美堂出版
- ◇『いいことずくめの 長いもレシピ』角川SSCムック
- ◇『からだにいいきのこ料理115』江口文陽 他/理工図書
- ◇『いも・くり・かぼちゃのスイーツ』信太 康代/ブティック社
- ◇『しょうがスイーツ』永谷園生姜部/日東書院
- ◇『材料入れてコトコト煮込むだけレシピ』堤 人美/主婦の友社
- ◇『ウー・ウエンの体をあたためるレシピ』ウー・ウエン家の光協会
- ◇『おいしい日本の煮物』中野 佐和子/旭屋出版
- ◇『釣り魚のさばき方』青島 和之/ブティック社
- ◇『一〇〇年レシピその2』笠原将弘/晋遊舎



無断持ち出しを無くそう！

図書館資料は、必ず
貸出をしてください。

10月 2018						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

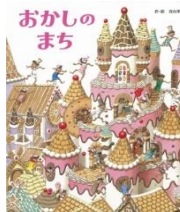
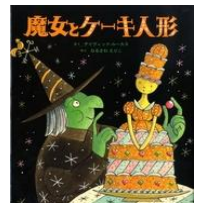
魔女やおばけ お菓子の絵本



『おばけのドレス』
はせがわさとみ/絵本塾出版
よるになりました。でもトンコちゃんはまだまだねむたくありません。お布団から抜け出すと窓から一枚の真っ白なぬのがふわふわとんできました。トンコちゃんが素敵ならくがきをすると...

『魔女とケーキ人形』

デイヴィッド・ルーカス/BL出版
お誕生日にひとりぼっちの魔女はケーキを焼いて人形をこしらえました。ケーキ人形に命令をしているろさせましたがはたして魔女はお誕生日を楽しむことができたのでしょうか？



『おかしのみち』
青山邦彦/フレーベル館
あるまちにとても美味しいと評判のお菓子屋さんがありました。そこには家の仕事がいすきな手伝い小人のブラウニーがすみついていました。ところがお菓子屋さんの主人とけんかをしてしまい...

10月の月末整理休館日は **10月31日**

水曜日です。気を付けてお越しください。

図書館開館日 全日開館時間は

10:00～18:00です。(■は休館日です。)



今の特集 ミステリー小説

好きな人も、あまり読まない人もこの秋ミステリー小説を読んでみませんか？



『オーパーツ
死を招く至宝』
蒼井 碧
宝島社

貧乏大学生の前に、顔も体格もまるで分身かのように瓜二つな男が現れた。同級生だという男は、制作不能な古代民芸品“オーパーツ”の鑑定士だと高らかに自称する。謎だらけのオーパーツに引き寄せられて起こる不可解な殺人事件を変人鑑定士と貧乏大学生の“分身コンビ”が解き明かす。今年『このミステリーがすごい』大賞を受賞。



『ポストカプセル』
折原 一
光文社

ポストに入れたラブレター、遺書、脅迫状、礼状が15年後に届いたら？「ポストカプセル」という企画で選ばれた手紙たちは15年後差出人のもとへ。受け取る人の喜び、悲しみ、戸惑い。手紙が巻き起こす波紋を当事者の気持ちになって読んでほしい。という序章からはじまるこの物語は、様々な手紙を通して思いもよらぬ騒動を引き起こす。



『インシエーション・ラブ』
乾 くるみ
原書房

80年代のほろ苦い恋愛小説かと思いきや、とんでもないトリッキーなミステリー小説だった！全編にわたる絶妙な伏線、最後に明かされる真相。とくに最後の2行でまた読み返したくなる。大学四年の僕と彼女(マユ)の話。僕たちは合コンの席で出会い付き合うようになる。いつも会っていたふたりは社会人になり次第にすれ違い衝突していく・・・。



『豆腐の角に頭をぶつけて死んでしまえ事件』
倉知 淳
実業之日本社

ミステリー6編を収録した作品集。特に「豆腐で人を殺せるのか!？」そんなとんちんかんなタイトルで始まるこの物語の時代は戦争末期。帝国陸軍の研究所で、若い兵士が倒れて死んでいた。その死体の近くには豆腐の欠片が。どうみてもこの兵士は豆腐の角に頭をぶつけて死んだ様にしか見えなくて・・・この物語の結末はいかに!?



『僕と彼女の左手』
辻堂 ゆめ
新潮社

心温まる優しいミステリー。身体や心にハンディーを抱えた二人が出会い、日々過ごすうちに恋におちる。この出会いは必然で、この出会いがなければお互いの過去を克服することはできなかつたろう。結果的には、ラブストーリーになるけれど、最後に至るまでの謎と伏線が繊細に織り込まれており、読み終わったあと心が軽くなる。



『ワルツを踊ろう』
中山 七里
幻冬舎

職を失い、父の死をきっかけに20年ぶりに帰郷した溝端了衛(りょうえい)。しかし出戻った村は限界集落となっていた。閉鎖的な環境のなか、どうにか村に馴染もうとするが、やることなすことが空回りしていく。次第に村の住人との関係も悪化していく・・・。最近ニュースになる悲しい事件かと思いきや、意外な結末でこの物語は閉じられる。



上記以外の本も所蔵しています。お探しの際は職員までお尋ねください。



つぶやき

【代表】小幡記念図書館

〒871-0056 中津市1366番地1(片端町)

Tel 0979-22-0679 Fax 0979-24-3516

●《三光図書館》Tel0979-43-2032 (三光公民館内)

●《本耶馬溪図書館》Tel0979-52-3033
(本耶馬溪公民館内)

●《耶馬溪図書館》Tel0979-54-3111
(耶馬溪公民館内)

●《山国図書館》Tel0979-62-2141

◇メールアドレス: tosyokan@city.nakatsu.lg.jp

◇ホームページ: <http://libwebsv.city-nakatsu.jp/>

今月の27日(土)から秋の読書週間がはじまります！今回もしおり、プチプレゼントを頑張って作りました。気に入っていただけると嬉しいです。詳細は読書週間が始めるまでお待ちください。しおりはなくなり次第終了し、プチプレゼントはスタンプを集めての交換となります。みなさんのご参加お待ちしております！